

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 6 部門第 3 区分

【発行日】 令和 5 年 10 月 16 日 (2023.10.16)

【国際公開番号】 WO2023/276049

【出願番号】 特願 2023-531245 (P2023-531245)

【国際特許分類】

G 0 6 Q 3 0 / 0 6 (2 0 2 3 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 Q 3 0 / 0 6

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 5 年 7 月 20 日 (2023.7.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

20

第 1 店舗における商品の販売数及び準備数の少なくとも一方を単位期間別に示す販売データ、並びに前記商品の廃棄数を前記単位期間別に示す廃棄データを取得する販売データ取得手段と、

前記第 1 店舗の客数及び前記第 1 店舗を含む第 1 エリアの交通量の少なくとも一方を前記単位期間別に示す客データを取得する客データ取得手段と、

前記販売データ、前記廃棄データ、及び前記客データの関連性を示す関連性データを生成し、当該関連性データをディスプレイに表示させる関連性データ生成手段と、
を備える店舗データ処理装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の店舗データ処理装置において、

30

前記関連性データは、前記客数及び前記交通量の少なくとも一方と、前記販売数及び準備数の少なくとも一方と、前記廃棄数と、の推移を示す、店舗データ処理装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の店舗データ処理装置において、

前記単位期間は日単位であり、

前記関連性データは、曜日別に、前記客数及び前記交通量の少なくとも一方と、前記販売数及び準備数の少なくとも一方と、前記廃棄数と、を示す、店舗データ処理装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の店舗データ処理装置において、

前記関連性データは、前記単位期間別に、前記客数及び前記交通量の少なくとも一方と、前記販売数及び準備数の少なくとも一方と、前記廃棄数とを示すデータを含んでおり、

40

前記関連性データ生成手段は、予め定められた条件を満たす前記単位期間である特定期間を、他の前記単位期間とは異なる態様で表示させる、店舗データ処理装置。

【請求項 5】

未来である第 1 期間における、第 1 店舗の想定客数及び前記第 1 店舗を含む第 1 エリアの想定交通量の少なくとも一方を含む想定データを取得する想定データ取得手段と、

過去であり前記第 1 期間と同一の属性を有する第 2 期間における、第 2 店舗の実績客数及び前記第 2 店舗を含む第 2 エリアの実績交通量の少なくとも一方、並びに、前記第 2 店舗において調理される商品の販売数及び準備数の少なくとも一方、を含む実績データを取得する実績データ取得手段と、

50

前記想定データ及び前記実績データを用いて、前記第1期間において前記第1店舗で準備すべき前記商品の数を示す推奨数を特定する推奨数特定手段と、
を備える店舗データ処理装置。

【請求項6】

請求項5に記載の店舗データ処理装置において、

前記想定データ取得手段は、前記第1店舗の客数及び前記第1エリアの交通量の実績値の少なくとも一方を用いて、前記想定データを生成する、店舗データ処理装置。

【請求項7】

コンピュータが、

第1店舗における商品の販売数及び準備数の少なくとも一方を単位期間別に示す販売データ、並びに前記商品の廃棄数を前記単位期間別に示す廃棄データを取得する販売データ取得処理と、

前記第1店舗の客数及び前記第1店舗を含む第1エリアの交通量の少なくとも一方を前記単位期間別に示す客データを取得する客データ取得処理と、

前記販売データ、前記廃棄データ、及び前記客データの関連性を示す関連性データを生成し、当該関連性データをディスプレイに表示させる関連性データ生成処理と、
を行う店舗データ処理方法。

【請求項8】

コンピュータが、

未来である第1期間における、第1店舗の想定客数及び前記第1店舗を含む第1エリアの想定交通量の少なくとも一方を含む想定データを取得する想定データ取得処理と、

過去であり前記第1期間と同一の属性を有する第2期間における、第2店舗の実績客数及び前記第2店舗を含む第2エリアの実績交通量の少なくとも一方、並びに、前記第2店舗において調理される商品の販売数及び準備数の少なくとも一方、を含む実績データを取得する実績データ取得処理と、

前記想定データ及び前記実績データを用いて、前記第1期間において前記第1店舗で準備すべき前記商品の数を示す推奨数を特定する推奨数特定処理と、
を行う店舗データ処理方法。

【請求項9】

コンピュータに、

第1店舗における商品の販売数及び準備数の少なくとも一方を単位期間別に示す販売データ、並びに前記商品の廃棄数を前記単位期間別に示す廃棄データを取得する販売データ取得機能と、

前記第1店舗の客数及び前記第1店舗を含む第1エリアの交通量の少なくとも一方を前記単位期間別に示す客データを取得する客データ取得機能と、

前記販売データ、前記廃棄データ、及び前記客データの関連性を示す関連性データを生成し、当該関連性データをディスプレイに表示させる関連性データ生成機能と、
を持たせるプログラム。

【請求項10】

コンピュータに、

未来である第1期間における、第1店舗の想定客数及び前記第1店舗を含む第1エリアの想定交通量の少なくとも一方を含む想定データを取得する想定データ取得機能と、

過去であり前記第1期間と同一の属性を有する第2期間における、第2店舗の実績客数及び前記第2店舗を含む第2エリアの実績交通量の少なくとも一方、並びに、前記第2店舗において調理される商品の販売数及び準備数の少なくとも一方、を含む実績データを取得する実績データ取得機能と、

前記想定データ及び前記実績データを用いて、前記第1期間において前記第1店舗で準備すべき前記商品の数を示す推奨数を特定する推奨数特定機能と、
を持たせるプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

客データ取得部120は、客データを取得する。客データは、第1店舗の客数及び第1エリアの交通量の少なくとも一方を単位期間別に示す。第1エリアは第1店舗を含む領域であり、例えば徒歩における第1店舗からの所要時間が所定時間以内（例えば10分以内）の領域である。客データは、記憶部150に記憶されている。なお、ここで用いられる単位期間は、販売データ及び廃棄データで用いられる単位期間と同じである。そして客データは、上記した対象期間の各数を含んでいる。

10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

なお、データ表示欄210において、関連性データ生成部130は、予め定められた条件を満たす単位期間（以下、特定期間と記載）を、他の単位期間とは異なる態様で表示させるのが好ましい。特定期間は、他の単位期間とは異なる模様又は色で示されてもよいし、特定のマーク、枠、又は文字が付与されていてもよい。これにより、店員は、特定期間を認識しやすい。

20

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0043】

ここで、関連性データ生成部130は、推奨数を、第1店舗と同一のクラスに属する店舗（すなわち上記した類似店舗）のうち、売上金額が高く、かつ廃棄数が少ない複数の店舗（以下、第2店舗と記載）の実績値を用いて設定する。具体的には、関連性データ生成部130は、推奨数を、第2店舗の実績値を用いた重回帰分析により、算出する。この重回帰分析において、目的変数は販売数（例えば時間帯別の販売数）である。また説明変数の一例は、単位期間の属性（例えば曜日）及び客数及びその店舗が属しているエリアの交通量である。この重回帰分析に用いられるデータは、記憶部150に記憶されている。

30

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

本実施形態によれば、推奨数特定部330は、商品の準備数の推奨数もディスプレイ340に表示させる。従って、第1店舗の店員は、商品の準備数の実績値妥当性を認識しやすい。

40